

2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年 4月 21日

所属	人間社会学部	職名	教授	氏名	櫻井 和典
研究課題	「遊び心」のある企業についてその特徴を解き明かし、学生の企業選びにどう関係するかを追求する				
研究キーワード	コラボレーション、協働、主体性	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	8.働きがいも経済成長も	12.つくる責任 つかう責任	17.パートナーシップで目標を達成しよう	該当なし	

1. 研究成果の概要

企業が難題に直面した際、それを乗り越えるためには、社員個々のコラボレーション力、主体性、自己効力感が必要であるというのが私の考えである。一昨年から、ゼミ活動の中でもこのテーマを取り上げ、学生が自ら「遊び心」のある企業を探し、その企業がどのような事業目的をもって、どのような強みを発揮しながら取り組んでいるのか。その中で、他の企業とは違う視点からアプローチするきっかけは何か？このような「遊び心」から何が生まれたか。今回は主に神奈川県株式会社カヤックに焦点を当てた。その結果、社会の課題がマイナスとしたら、それを解決するだけでは±0に、つまりかつての姿に戻しただけだが、遊び心がある企業は、そこから新しい価値を生み出す（プラスにする）ということがわかった。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

とくになし

【著書・論文（査読なし）】

「初めての人間社会学第2版 現代社会とSDGs」 千葉商科大学 人間社会学部・編 2023年 中央経済社 第11章「先が読みづらい時代で働くために」

【学会発表等】

とくになし

3. 主な経費

とくになし

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

とくになし

(本文は2ページ以内にまとめること)